

つちかいびと
培人たちが作る、芸術のさつまいも。

「富の川越いも十三里」とめ



べにあか 紅赤

富の川越いもと言えば紅赤。
120年続く伝統あるさつまいも。
栗のようにホクホクした黄色い
身は上品な甘さ。天ぷらがイチ
オシです。
※収穫時期は10月下旬～11月。

つちかいびと 培人とは...

今から約320年前の江戸時代に行われた三富新田の開拓以来、関東ローム層に厚く覆われた赤土の台地に、平地林からの落ち葉堆肥をはじめとする様々な肥料を投入して、土づくりを行ってきた三芳の畑。こうした、土を育て愛情込めて作物を栽培する農業者を「培人」と呼んでいます。



富の川越いもは「栗よい十三里」と江戸と川越の距離をもじり、古くからその美味しさが伝えられ、今なお味わうことができる上質なさつまいもです。

さつまいもは、食物繊維やビタミン類を効率よく摂取するのに適しています。

平地林の落ち葉堆肥と愛情を込めて栽培したさつまいものなかでも、紅赤は「さつまいもの女王」と呼ばれ、ホクホクした食感と昔ながらの上品な甘さが人気。他にも「紅東」や甘みの強い「紅はるか」など、さまざまな品種があります。美味しい富の川越いもをぜひご賞味ください。

問い合わせ
観光産業課 農業振興担当
☎049-258-0019（内線212・213）



さつまいも本来の味を楽しむならやっぱり焼きいも！品種によって甘さや食感が全く異なり、食べ比べもおすすめです。



紅はるか

ねっとり甘く、蒸かすとようかんのよう。焼き芋にすると、水分が飛んで、さらに甘さが凝縮。お年寄りや小さなお子さんにも食べやすい食感です。



紅東

定番のサツマイモと言えば紅東。中は黄色く、ホクホクして甘い紅東。焼き芋、蒸かし芋、天ぷら、大學いも、コロッケ、ポテトサラダなど、色々な食べ方で楽しめます。



パープル スイートロード

鮮やかな紫色で甘い埼玉県生まれの紫芋。お菓子作りや、そのまま蒸かしたり焼き芋にしても美味しい食べられます。丸々した大きな形をしています。



シルクスイート

2013年に誕生したさつまいも界の超新星ともいえる品種です。絹のような舌触りと蜂蜜のようなコクがある、抜群の甘さが特徴です。